

図書館とともだち

図書館とともだち・鎌倉 おしらせ No. 229

2025・1・15

三椀の 雑煮かゆるや 長者ぶり
—蕪村—
明けましておめでとうございます。

凧あげ、羽根つき、独楽回し、獅子舞い
いろいろなものを
いつの間にか
身近に見かけなくなりました
令和七年のお正月
残したいものは何ですか？

○ CONTENTS ○

PAGE

☆ 7回目の巳年を迎えて	長野ヒデ子	…1
☆ 長野ヒデ子さん いつもありがとうございます		…2
☆ NPO フェスティバルご案内		…3
☆ 2024 年度活動報告・2025 年度活動計画		…3
☆ 2024 年度 TOTOMO 活動報告		…4
間島の会／ひこうせん／読書会／朗読会／学校図書館		
☆ 松坡先生をめぐる人々 22 山口弘達	袴田潤一	…5
☆ F☆L 報告 おはなしひこうせん／間島の会／TOTOMO		…6
☆ F☆L 実行委員会報告		…7
☆ 映画と本と図書館と 47 田邊恵美	／銀幕情報／ボラ協報告	…8
☆ 総会案内・会費納入のお願い・ご寄付御礼・振興基金寄付報告		…9
☆ 活動日誌		
☆ 事務局から		…10



7 回目の巳年を迎えて

絵本作家 長野ヒデ子

今年で7回目の巳年 84 歳になり、元気で生かされたこと感謝でいっぱいです。愛媛県富田村拝志で生まれ、結婚して今治を出て鎌倉在住。子ども時に熱心な信者の祖父に連れられ浜桜井教会にお参りし、退屈でお祈りしている祖父の背中に乗ったりして遊んでいました。

小学生になると教会のキャンプ等に参加しているいろいろな年齢の方と遊びました。

5 年生の時に矢内原忠雄東大総長が富田小学校に来られ矢内原全集や内村鑑三全集を読み無教会のクリスマスの集会に参加し、矢内原先生が高校の時に書かれた

「拝志川」という詩にであい、私達が「富田小学校の前の川」と親しんでいた川の名前をはじめて知り感動。その上、矢内原忠雄先生が神戸中学に通っていた時に下宿していた家の望月は、私の連れ合いの長野の大叔母に当たるので驚いた。そんなこともあり転勤先の福岡の無教会クリスチャン集会に家族全員で集った。そこで九州大学医学部学部長の間田直幹先生の家庭集会で教え子である中村哲医師と出会った。間田先生は初代ペシャワール会の会長、皆で中村先生をアフガンに送る壮行会にも出席し、私はペシャワール会の立ち上げの時からかわりました。中村哲医師の本を出し続けている石風社は私のデビュー作『とうさんかあさん』を出してくれ、私を育ててくれた出版社なのである。今は鎌倉の恩寵教会に毎



長野ヒデ子さん（撮影：品田裕美）

週、連れ合いの長野は礼拝に。私はたまに。この恩寵教会は「星の王子様」を翻訳された内藤濯氏の甥の内藤協牧師たちが作られた教会で、偲ぶ書に哲学者西田幾多郎が名越の火葬場で茶毘に付されたことも書かれている。内藤濯氏のご息の内藤初穂氏も通われた教会です。

中村哲医師は 3 度も鎌倉に来て下さり講演して下さった。ある時ノーベル賞最終候補最終選考の前の晩、鎌倉にいらっしゃり皆ドキドキして発表を待った。

井上ひさし氏や米原万里氏や中村哲医師の本を出している石風社の福元満治編集者達と、もし受賞したら中村哲さんの本の帯を作り直さねばならない！どのような文面がいいかと皆で、必死で考えた。翌朝残念ながら受賞にいたらなかったが中村哲先生の「受賞しなくてよかった」の言葉が忘れられない。だから余計に今年の被団協のノーベル賞受賞に感動！私は被爆地長崎で 56 年前息子を出産したので余計に感慨ぶかく感動はひとしお！長崎でのその出産の 1 日を絵本にしたのが『おかあさんがおかあさんになった日』（童心社刊）なのです！

6 年前に中村哲氏が銃撃されてお亡くなりになられた時、この教会で中村哲医師の愛唱讃美歌 24 番を歌った。中村哲さん曰く「アフガニスタンには、いろいろな宗教があるが登り口はいろいろあっても、たどり着く神は皆同じ」とよく言われました。。。。。

この言葉を思い出すたびに私は日ごろの不信心を恥じ入るのですが、読書もまたそれぞれのやり方で読書と向き合い皆違うけど、たどり着くところは皆同じだと思うのです。。。。

長野ヒデ子さん いつもありがとうございます

TOTOMO が長野ヒデ子さんと初めてお目にかかったのは、2002 年 5 月に行った「第 12 回著者を囲む会」のときだったかもしれません。諫早の干潟を案じて児童文学作家の丘修三さんと一緒に創られた絵本『海をかえして！』（童心社 1997 年刊）についてお話を伺いたく対談をお願いしたのです。鎌倉の住民だからと、長野さんはすぐに TOTOMO の仲間になって下さり、以来 20 年以上もの間、鎌倉の図書館や私たちの活動を温かく見守り、折にふれ「がんばれ～」とエールがとどきます。

「おはなしひこうせん」の案内リーフレットの猫の絵や、市民と図書館が協働して「第一次子ども読書活動推進計画」を策定したときの広報パンフレットの表紙を飾る本の海の絵、ソロプチミスト鎌倉から寄贈された配送用図書館自動車「ブックン」の車体に描かれる見れば踊りたくするような絵など、いくつもの厚かましいお願いをいつも

笑顔で叶えてくださり感謝しかありません。

子ども読書活動推進の拠点となる「かまくら読書活動支援センター」が設立したときには「絵本とこどもとわたし」をテーマに記念講演を、また 2011 年 7 月の鎌倉図書館開館百周年のときには、鎌倉に住まわれる絵本や児童文学などの著名な作家さんたちと一緒に、当会企画の記念原画展「こどもとつくる未来の図書館」のために貴重な原画を無償で出品して下さるなど、振り返れば、鎌倉の図書館も、友の会である私たちもなんて贅沢な支援を頂いて今にいたっていることかと思えます。

子どもも、かつて子どもであった大人も一緒に、鎌倉らしい、鎌倉ならではの、楽しくマジメな図書館づくりのために、TOTOMO は長野さんのしなやかなパワーに助けを頂きながら、今年もゆっくりたゆまず歩いていきます ♪

第 26 回かまくら市民活動フェスティバル (NPO フェスティバル) のご案内

日時：2 月 16 日 (日) 10:00~16:00 会場：鎌倉市福祉センター

当会は今年もパネル展示とおはなし会などのワークショップで参加する予定です。

皆様ぜひご来場ください。詳細は NPO センター HP でご確認ください。



2024 年度活動報告

〈重点事業〉

- ① 市庁舎移転に伴う図書館のこれからを考える活動
- ② 司書採用の継続の見守りと図書館司書の専門性を幅広く理解してもらうための活動
- ③ 学校図書館司書についての現状を把握し、理解するための活動
- ④ ファンタスティック☆ライブラリー（以下 F☆L）への企画・参加

2024 年度は地震で始まり、大雨、夏の驚くような暑さ、短い秋に急な寒さ、体がついていけないような気温の変化、年末にはインフルエンザやコロナの流行、物価の高騰とその他にも語り切れない一年でした。TOTOMO は①の図書館のこれからを考える活動として7月に教育長に「地域館及び中央図書館の基本設計にあたり図書館協議会で諮問を実施することについて」の要望書を提出しました。さらに新庁舎の基本設計業者を決めるための新庁舎提案概要書への意見書き込みも行いました。②2024 年度に司書の正規職員採用募集は残念なことにありませんでした。③学校図書館司書の方の現状や仕事を理解するため「学校図書館を考える会（仮）」を9月に立ち上げました。④F☆L・112（2月4日、5日）、F☆L・113（12月1日、2日）に参加しました。F☆L・113では3月15日に旧鎌倉図書館が登録有形文化財になったことを皆様にお知らせし、皆様のご協力に感謝するパネルを展示しました。《図書館と TOTOMO では年度の区切りが違う為 2024 年度は 2 回参加となりました。》⑤その他 埋蔵文化財の講演会や陣出遺跡の講演会を開催しました。さらに、必要と思われる傍聴や勉強会を行いました。

2025 年度活動計画（案）

〈重点事業〉

- ① 市庁舎移転に伴う図書館のこれからを考える活動
- ② 司書採用の継続の見守りと図書館司書の専門性を幅広く理解してもらうための活動
- ③ 学校図書館についての現状を把握し、理解してもらうための活動
- ④ ファンタスティック☆ライブラリーへの企画・参加
- ⑤ 旧鎌倉図書館の記録集の作成

市庁舎移転に伴い2つの図書館を考えることは 2025 年度も活動計画事業とします。さらに図書館司書・学校図書館司書の重要性について理解してもらうための活動を続けて行う予定です。今年度の F☆L は 2025 年 12 月上旬を予定しています。その他、旧鎌倉図書館については 登録有形文化財となったことを記念して記録集を作成したいと考えています。ほかにも NPO フェスティバル、地下道ギャラリー展等、とにかく出来ることをできる範囲で取り組んでいきたいと思っています。

皆様からのご意見ご感想は私たちにとってたいへん励みとなっています。本年もご協力いただけますようどうぞよろしくお願いいたします。



《2024年度TOTOMO活動のご報告です》

○間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会 報告○



2024年は2月と12月にファンタスティック☆ライブラリー（以下F☆L）で間島夫妻寄贈書の調査報告を兼ねた展示発表を行いました。10月には湘南邸園文化祭に参加。国の登録有形文化財に指定された旧鎌倉図書館に関する講演会と見学会を実施し、とても好評でした。間島夫妻にゆかりあるミュージアムを訪ねたり、青山学院の新しい図書館を見学したり、また日本図書館文化史研究会主催の講演を聴講したり・・・と、会員それぞれが研鑽に努めた一年でした。

(鈴木保美)

○おはなしひろくせん報告○



2024年度も様々な活動を通して充実した一年でした。2月と12月にF☆L・112と113が行われ、「ようこそTOTOMO図書館へ 世界のおはなしいろいろ」と「クリスマス絵本を楽しもう！聞こえてくるよ！シャンシャンシャンクリスマス」というテーマでパネル展示とおはなし会、ワークショップを行いました。112の反省を生かし、113では参加された鎌倉女子大の学生さんたちとも積極的に交流しました。ボラ協交流会や子育てサロン西鎌倉ぼっけでのおはなし会、本の海サポーターズ交流会や図書館ボランティアステップアップ講座への参加、昨年から続いているユニリーフさんの点字絵本の貸し出し作業には毎月有志が参加しました。8月の夏の遠足では、神奈川近代文学館「没後10年古田足日のぼうけん展」とオレンジ&レモン文庫を訪問。11月の勉強会では、久しぶりに野の花ホールで多先生からサンタクロースの折り紙を習いました。

(杉崎)

○読書会報告○



読書会は隔月、計6回開催しました。常連は5名ほどですが、どんな感想や意見も受け入れられ、テーマ本から脱線することも楽しみのひとつです。読書会でテーマにする本は多岐にわたりますが、最近は女性作家の作品を取り上げることが多くなりました。

6月にこの読書会を立ち上げられた三浦邦雄さんが他界され、生前最後に推薦していただいた井上靖の『夏草冬濤』をテーマ本として読み、在りし日を偲びました。

(杉崎)

○ととも朗読の会○



毎月1回 保育園みつばちで、3～5歳児の30人程に絵本読みを2人でしています。子ども達は元気な挨拶をして、聞いてくれます。季節が感じられる、年少向けの本から始めます。4冊の絵本と手遊び。子ども達と共に楽しんでいる私達です。3月は1冊だけにし、初めてヴァイオリン演奏と一緒に「モチモチの木」を読みました。来年もヴァイオリン演奏と絵本を組み合わせる予定です。

(中村都子)

○学校図書館を考える会(仮)○

2024年鎌倉市内の学校図書館の充実を願って新たに発足した、できたてほやほやの会です。不定期ながら9月、10月、1月に対面やオンラインで集まりをもち、情報交換や話しあいを重ねています。



(阿曾)



山口弘達

『華族畫報』(華族畫報社 1913)より

今回から松坡先生が主宰した鎌倉の漢詩社「松社」の同人を紹介します。片野玄貞(号は晃陽)と成瀬美雄(号は蘇陰)は既に紹介しました。松社は松坡先生の鎌倉移居後、明治40年

前後に鎌倉周辺の漢詩愛好者の求めに応じて生まれました。『松社同人集』(1938年)の凡言には、「松坡先生、鎌倉に移居してより茲に三十年なり。其の間、詩を問う者前後頗る多し。」

(原漢文)とあります。同書に詩が載録されている同人は故人を含めて29人で、職業が判っているものを列挙すれば、官吏・退役軍人・画家・質店主・貿易商・教員・僧侶・医師・旧藩主と多彩で、東京帝国大学文科大学英文学科卒業生第一号もいます。居住地は鎌倉以南の三浦半島が最も多く、横浜、東京が続き、千葉に住む者も。

今回は、牛久藩第12代藩主山口弘達ひろよしです。山口弘達(1860~1932)は万延元(1860)年、牛久藩第11代藩主山口弘徹ひろあきらの長男として生まれ、3歳で家督を継ぎました。戊辰戦争では新政府に与し、10歳にも満たずに龍ヶ崎や水海道みづかいどうへ出兵したそうです。版籍奉還により10歳で知藩事となり、明治4(1871)年廢藩置県で免官、同年11月まで牛久県知事を務めました。その後、明治17(1884)に子爵。学習院の教授を務め、明治23(1890)年から大正14(1925)年まで5期にわたって貴族院議員を務めています。書画に巧みで、硯の愛好家としても知られます。旧藩主・士族の嗜みとして漢詩もよくしたのでしょう。住まいは東京で

したが、鎌倉に別荘を持ち、松社に参加していたものと思われます。号は蕙石。

書に優れていたことは「福田先生之碑」(長瀨町八幡神社1930年建碑)の碑文を書いていることからわかります。福田先生とは長瀨が生んだ柔術家福田八之助(1828~1879)。碑文の撰者が嘉納治五郎であり、嘉納は柔道の弟子で学習院の同僚だった同年齢の山口弘達に書を依頼したのです。画については、この連載でもしばしば紹介した春田源之丞の喜寿祝いの『巖帖』に画を寄せています。また、愛硯家としても知られ、昭和6(1931)年5月7日の松社雅会の折のエピソードを上村賣劍が紹介しています。「当日は古硯の鑑識に名聲ある山口子爵の見え候ため所藏の一枚を持参して高覽を煩はし候ところ大に稱讚せられ是れは確かに宋硯にて馬肝色所謂大極硯なりと断定せられ貧生の財産中に在りて第一等のものと相成申候」。(『漢詩春秋』第15巻第6号1931.6)

漢詩は『松社同人集』に五首載録されており、その一首に「寄題一杏庵いっきょうあん(一杏庵に題を寄せる)」という作があります。「寄題」は指定された題で詩を読むこと、「一杏庵(杏庵)」は松坡先生の材木座水道路の住まいの庵号ですから、松坡先生の住まい、松坡先生その人を詠んだ詩ということになります。

杏樹移栽帶暖霞 春光秀麗老儒家
主人培養工夫妙 紅萼開成爛漫花

杏の樹を移し栽えて暖霞を帯び、春光秀麗たる老儒の家。主人の培養、工夫妙にして、紅萼開きて成る、爛漫の花。「老儒」「主人」は松坡先生のこと。結句に「開成」を詠み込んだのは何ともシャレています。

山口蕙石は昭和7(1932)年7月18日に死去。松坡先生は「蕙石山口子爵輓詞」を捧げて「遺愛硯屏今在手(遺愛の硯屏、今、手に在り)」と詠じています。

○昨年12月1日と2日、中央図書館にてファンタスティック☆ライブラリー・113が開催されました！各会からの参加報告です。

♪おはなしひこうせん

クリスマス絵本を楽しもう！ 聞こえてくるよ！シャンシャンシャンクリスマス



各国のクリスマス料理も紹介

今年度のF☆Lは12月に行われると決まり、これはクリスマスの絵本を紹介する絶好のチャンスとすぐにテーマを定めて、夏前からクリスマスの絵本を勉強会で取り上げてきました。各自のテーマは、「クリスマスとは何か」「サンタクロース」「クリスマスと妖精」「クリスマスのお料理」「〇〇シリーズのクリスマス」「クリスマスプレゼント」「トナカイ」「クリスマスツリー」「世界の子どものクリスマス絵本」。絵本を読みこみ工夫を凝らして作成したパネルが9枚並び、併せて紹介した絵本を展示すると、親子連れが次々に手に取り借りていってくれました。前回のアンケートにワークショップを増や

してほしいという要望があり、11月30日のプレと12月2日の休館日に点字体験(クリスマスカードにメリークリスマスと書く)と同じく2日に児童コーナーに折り紙のサンタクロースを隠し子どもたちに探してもらった催しをしました。おはなし会は4回行い、クリスマス絵本の読み聞かせを中心に手遊びや「あわてんぼうのサンタクロース」を皆で歌うなど参加されたお子さんたちと楽しみました。



クリスマス絵本でおはなし会



クリスマス絵本の紹介パネルいろいろ

また、今回はおはなし会やかるた

飛ばしで参加された鎌倉女子大の学生さんたちと交流でき、手話の歌を教えていただいたり、かるた飛ばしに挑戦したり、学生さんには点字の体験をしていただきました。

ひこうせんのクリスマス絵本のパネルは、12月25日までそのまま中央図書館のおはなしのへやに展示され、1月からの巡回展示は季節外れになってしまうので行わないことにしました。(杉崎)

♪ 間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会

『間島弟彦・愛子夫妻の寄贈本とゆかりの人々』PART2
副題『小林一三・米山梅吉・藤田富子・阪正臣を中心に』

愛子氏が鎌倉の図書館に寄贈された蔵書のうち、弟彦氏の父間島冬道翁没後弟彦氏が編んだ『間島冬道翁全集上下』、弟彦氏没後愛子氏が編んだ『間島弟彦集上下』いずれも帙入り本を主として37冊を選び、弟彦氏夫妻と交流の深い小林一三・米山梅吉・藤田富子・阪正臣を中心に展示を行った。寄贈印、間島蔵書印、書誌情報、国立国会図書館デジタルコレクションの有無、興味ある内容に加えて書込みの有無など会員が分担し各本の紹介作業を丁寧に行った。

本の中に記された書込みは間島夫妻いずれか、はたまた寄贈後の貸出時に読者の書込みかは今となっては判断できない。出版時期は明治から戦後にわたり紙質や印刷状態は様々であるが傷みの激しい本が多く、更なる劣化を防ぎより良い状態で保存する事が今後の重要な課題の一つと話し合った。



3階で行われた展示

(阿部)



1階ではTOTOMO展示

TOTOMOは旧鎌倉図書館についてのパネル展示を行いました。内容は、2024年3月15日に旧鎌倉図書館(現在は学童施設)が国登録有形文化財(建造物)に登録されたご報告と、会員の皆様やととの活動を応援してくださった皆様に感謝の心をお伝えさせていただくものでした。

また、パネル以外にも下記3点を合わせて展示しました。

- ・旧鎌倉図書館保存活動(2014年～現在迄)の歩みをまとめたファイル
- ・菅孝能先生の講演会(2024年10月27日開催)にて配布された資料『旧鎌倉図書館はこうして保存された』
- ・『旧鎌倉図書館 現状調査等報告書』(図書館で貸出しています)

12月1日(日)、2日(月)と2日間に亘って開催されたF☆Lですが、1日は図書館以外の近隣の場所でも様々な催し物・イベントがあったこと、2日は休館日だったことも手伝ってか、両日共に見学者は少ないように感じました。今後の課題として、イベントの周知方法や展示参加者の多様化など、もっと多くの方に目にいらしていただける方法を検討する必要があると思いました。(古矢)

旧鎌倉図書館保存活動についての詳しい内容はこちらから



第4回ファンタスティック☆ライブラリー・113実行委員会報告

12月19日(木) 於：中央図書館多目的室

12月1日、2日に無事にファンタスティック☆ライブラリー・113が終了し、3団体4名と図書館員4名の参加で今年度の振り返りと来年度に向けての話し合いを行いました。

1.各団体の振り返り

- ＜間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会＞3階のガラスケース内とパネル展示のみだったが、講演会受講者などはよく見てくれた。一般の方をうまく3階へ誘導ができればよかった。
- ＜松坡文庫研究会＞講演会には20名が参加。松方正義氏の曾孫さんやファンの方が参加してくれ、中身の濃いものとなった。ギャラリートークは鎌倉市公式YouTubeチャンネルで配信中。
- ＜かまくら女性史の会＞広報かまくらに保育の展示や三浦富美子氏の講演会のことを入れてほしい。三浦氏の講演会には30名が参加。中には小学1年生もいた。
- ＜おはなしひこうせん＞クリスマス展示は好評で、絵本がたくさん借りられていった。鎌倉女子大の学生と交流できてよかった。おはなし会への参加者は、合わせて大人26名、子ども12名。点字体験は大人6名、子ども1名の参加。「サンタを探せ！」も楽しんでもらった。
- ＜図書館＞YAコーナーのリーディングトラッカー作りは、約20名が参加、障害者サービスの助けになった。鎌倉女子大のカルタ体験は、13名参加で思った以上に楽しくできた。まるまーのおはなし会は、子ども20名、大人22名の参加。
- ＜全体＞例年のことだが、参加者が少ないのはPRに問題がある。若い人に伝えるならSNSの活用も考えたほうがいい。開館日でも、その日だけはお断りして、にぎやかにしてもよいのではないかと。参加型で心に残るイベントを考えたい。今回TOTOMOとしてパネル展示も行った。

2.巡回展示スケジュールについて

1月7日より、間島の会、松坡の会、女性史、TOTOMOの展示パネルが順次地域館を巡回中。

3.来年度の開催について

- ・開催時期は今年度同様、12月上旬で、会場は、中央図書館あるいは、深沢学習センター第6集会室(令和7年12月6日、7日を予約)のどちらがよいか次回までに各団体で検討してくる。
- ・新規の参加には、ある程度の条件付けは必要。個人参加は難しい。実行委員会へ参加してほしい。次回の実行委員会は、令和7年4月17日(木)14時から、中央図書館にて行います。TOTOMOからは阿曾(松坡文庫研究会兼務)・阿部・杉崎が参加しました。(杉崎)



第47回

映画と本と図書館と

『PERFECT DAYS』

(2023年 日・独 制作/監督: ヴィム・ヴェンダース)
ビターズ・エンド配給 (日本公開2023年)

「かまくら銀幕上映会」ナビゲーター 田邊恵美

『映画とは、壮大なコラージュの芸術かもしれない』

私が映画を沢山見始めた中学生の頃から何となくやっているのが、『今年見た作品マイベスト10』。よくキネマ旬報とか業界誌が、その年に公開された作品にランキングを付けているので真似をした。ロードショー以外に名画座で、とか深夜テレビで、等も混じるのであくまでマイワールドの話。最近では毎年、『かまくら銀幕上映会/勝手にベスト10』を選んでる。昨年2024マイ銀幕ベスト1がこの作品。出来る限りここでの監督被りは避けて来たが、気付くと既にヴィスコンティを2本取り上げてしまったし…。

前評判や受賞歴など聞いてしまうとついバイアスカかりそうで、ネタバレを見てしまうと感動が薄れるのを心配しがちだが、本当に素晴らしい映画はそのように事前知識が入っていても何度見ても素晴らしいので、安心して下さい。

主人公は、様々な本を古本屋で買って来て、アパートで綺麗に並べて読み耽る。あの『ベルリン・天使の詩』で美しい図書館シーンをロケで撮ったヴェンダース監督だから、図書館で借りる、でも良さそうだが、それだと絵的に『彼の小さな城』感が出ないのかもしれない。

はっきり何の本かわかるのが3冊あるので、読み始めてみた。さながら王女気分スペイン広場でジェラート、の様である。幸田文、ウィリアム・フォークナー、そしてパトリシア・ハイスミス。実生の苗木を育てる男が読むのは、幸田文の『木』。なるほど。

かまくら銀幕上映会のお知らせ (主催: ドリーム・アーツ (03-5969-8081) 於: 鎌倉芸術館小ホール

1/23 (木) 『アナウンサーたちの戦争』 ☆上映前にフリーアナウンサー齊藤安弘さん (元ニッポン放送アナウンサー) のショートトークがあります①11:00~ ②14:00~

2/12 (水) 『ハロルド・フライのまさかの旅立ち』

2/26 (水) 『パトリシア・ハイスミスに恋して』

3/4 (火) 『ボレロ 永遠の旋律』

3/19 (水) 『チャイコフスキーの妻』

◎前売り券・シニア 1000円 (当日券: 1300円) ◎上映時間①11:00~ ②14:00~

☆上映スケジュールの確認は、鎌倉芸術館 (0467-48-5500) へ

☆受付で「田邊さんから聞いた」とおっしゃっていただければ、前売り料金でご覧いただけます。



ボランティア連絡協議会報告

12月1日(日)に福祉まつりが開催されました。初めて冬の開催となりましたが、来場者は約2170名、バザーの売り上げは30万円ほどになりました。市民献品バザーには物品の仕分けから販売まで、延べ人数で340名超のボラ協メンバーの協力がありました。

初雪の舞う寒い一日となった12月19日(木)、年内最後の委員会が行われました。赤い羽根共同募金や福祉まつりの報告があり、出席者からも改善点などについていくつかの意見が出されました。

2月20日(木)にはボラ協交流会を予定しています。登録グループの活動発表、福祉作業所のパンの販売などを企画しています。会場は福祉センターで10時~14時です。皆様のご来場をお待ちしています。
(黒瀬)

2024 年度会員総会のお知らせ

日時：2025 年 1 月 26 日（日） 10：00～11：00
場所：福祉センター 第3会議室

○総会に続き、TOTOMO の活動について会員交流会を行います。みなさまのご参加をお待ちしています

◎年会費納入と会員拡大のご協力をお願い◎

「図書館とともだち・鎌倉（通称 TOTOMO）」は、会員の皆様の会費によって運営されています。本年も「図書館とともだち・鎌倉」の活動が充実したものとなりますよう、会費の納入をお願いいたします。

[25 年度会費(1-12 月分)一口 1,000 円]
ゆうちょ銀行振替口座番号 00230-5-16611
ゆうちょ銀行振替口座名 図書館とともだち・鎌倉

TOTOMO では随時会員を募集しています。図書館を愛する方、興味をお持ちの方、図書館を応援したい方——多くの方のご参加をお待ちしています。



2024 年度ご寄付くださった方々

☆2024 年度も多くの方にご寄付をいただきました。ここにご報告し、心よりお礼申し上げます。
吉山京子・松本陽子・木村みどり・鈴木保美・高柴圭子・木村ゆき・長野ヒデ子・綱島覚・福富昭江・山下すみ子・津村留美・郡司春乃・夏梅安代・高橋円・大木禮子・阿曾千代子・石原裕子・福田曜子・星美由紀・大山文子・黒瀬聖子・伊藤澄子・古矢良子・石井美紀・大里亜矢子・佐々木三規子・菅孝能・田邊恵美・岩澤博・10/20 講演会参加者・10/27 講演会参加者・その他匿名の方々

(ご寄付いただいた順・敬称略)

今年度も「図書館振興基金」へ寄付をしました

12 月 11 日、TOTOMO は中央図書館へ「図書館振興基金」10,000 円を持参し、栗原館長にお渡ししました。鎌倉市図書館 100 周年の 2011 年に制定された「鎌倉市図書館振興基金」。TOTOMO では、翌年 2012 年より、毎年 10,000 円を、2017 年には NPO フェスティバルでの古本市の売り上げから 25,000 円を寄付しています。総額は 155,000 円になりました。今後も、図書館振興基金の行方を見守りながら、ささやかではありますが寄付を続けていきたいと思えます。 図書館振興基金 <https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/fund.html>

活動日誌 (11/28~1/15)

11/30	プレファンタスティック☆ライブラリー	12/19	ボランティア連絡協議会委員会出席
11/30	ファンタスティック☆ライブラリー準備	12/19	ファンタスティック☆ライブラリー実行委員会出席
12/1、2	ファンタスティック☆ライブラリー	12/23	会計監査
12/4	間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会	1/6	学校図書館を考える会（仮）Zoom 会議
12/5	Unileaf お手伝い	1/9	Unileaf お手伝い
12/11	図書館振興基金へ寄付	1/9	ボランティア連絡協議会役員会出席
12/12	ボランティア連絡協議会役員会出席		ロビー活動 随時
12/19	おはなしひろくせん勉強会		定例会 5 回 (12/4, 11, 18, 1/8, 15)



TOTOMO COMING NEXT! 事務局からのお知らせ

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

第27回 2024年度会員総会

日 時：1月26日（日）10時～11時 場 所：福祉センター第3会議室
 今までの活動を振り返り、今後の活動につなげるために今年度も会員総会を行います。
 詳しいご案内は、添付の総会資料をご参照ください。

◇◇ 会員交流会 ◇◇

総会に続いて、11時～13時に同じ会場で会員の皆さまとの交流会を行います。
 間島の会やひこうせんなど各会の活動紹介や会員の皆さまのご近況や図書館に対する思いなどを語り合えればと思います。総会と併せて皆さまのご参加をお待ちしています。

お問い合わせは、黒瀬（TEL/FAX 0467-22-8545）まで。

おはなしひこうせん勉強会

日 時：1月16日（木）13時～15時 場 所：NPOセンター大船
 テーマ：「のぼる」山や木に登る、太陽や月が昇るなど、様々な「のぼる」の絵本や紙芝居
 をご紹介ください。

お問い合わせは、黒瀬（TEL/FAX 0467-22-8545）まで。

読書会

日 時：1月24日（金）11時～12時半 場 所：NPOセンター鎌倉
 テーマ本：アーザル・ナフィーシー著『テヘランでロリータを読む』（河出文庫）、
 岸田奈美著『家族だから愛したんじゃないくて、愛したのが家族だった』（小学館文庫）

お問い合わせは、杉崎（TEL/FAX 0467-41-4956）まで。

間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会

日 時：2月5日（水）13時半～16時半 場 所：NPOセンター鎌倉

お問い合わせは、鈴木（TEL 090-4728-5242）まで。

第26回かまくら市民活動フェスティバル「めざめ」

日 時：2月16日（日）10時～16時 場 所：福祉センター

TOTOMOは、パネル展示とひこうせんによるおはなし会で参加の予定です。

お問い合わせは、NPOセンター鎌倉（TEL 0467-60-4555）まで。

☆図書館友の会全国連絡会

12月12日、図書館改革プロジェクト会議（第1回）に参加し、同月17日に開かれた文科省主催の「図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議（第1回）」をオンラインで傍聴しました。

お問い合わせは、阿曾（TEL/FAX：0467-45-5731）まで。



編集後記 * * * * *

☆F☆L報告お楽しみいただけただけでしょうか。F☆Lが無事終了し、ほっとしたのもつかの間
 年末年始は会計監査や総会資料の準備に追われました。(A.S)

☆TOTOMO 発足から、気が付けば四半世紀以上過ぎていました。今年も充実した活動ができます
 ように！会報作成も引き続きがんばります。(M.S)

題字・巻末カット：小島寅雄

2025年1月15日発行

図書館とともだち・鎌倉（代表：水岡やす子） 編集：阿曾・黒瀬・杉崎・斉木

事務局：〒248-0005 鎌倉市雪ノ下1-14-34（黒瀬）TEL/FAX 0467-22-8545

HP：<https://totomo.sakura.ne.jp> E-mail：toshokantomodachi@gmail.com

